発言順位	５番

代 表 質 問 発 言 通 告 書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第５１条第１項の規定により通告します。

令和　５年　２月　１５日

三島市議会議長　　川原　章寛　様

三島市議会議員　９番　　服部　正平

質問事項及び具体的内容

令和５年度に向けた施政方針説明では「新型コロナウイルス」への警戒感、「資源価格の高騰」・「円安」による物価の高騰等の不安要素を抱える中においても、将来を見据え市政発展に向け、行政課題への迅速かつ的確な対応のため副市長を新たに１名配置し、持続的な発展に結びつけるとのことでありました。

その持続的な発展に向けた令和５年度一般会計予算は総額４２４億８，０００万円と過去最大規模となっています。

予算における前提である歳入では景気の持ち直しが期待され、市民税、地方交付税の増収を見込んでおられます。

一方、歳出における各種事業では新規事業、拡充される事業もありますが、総じてこの間の取り組みの延長線上ではないかと思われます。

以上の点から令和５年度の予算・事業概要、持続的発展について以下、質問を行います。

１　過去最大となる令和５年度予算規模の歳入根拠について

（１）歳入の根幹である市民税・法人市民税が前年を上回る景況感が市内にあったか。

（２）固定資産税の伸びの要因を移住世帯の増加としている根拠について

（３）依存財源とされる地方交付税、地方特例交付金における国の動向をどう捉えているか。

２　市長４期目就任にあたり述べた「リセット」の決意と意味合いについて

市長選後市長就任にあたり「自身の頭と心をリセットして街づくりに取り組む」と決意を述べられた。この「リセット」という発言は、市長在任１２年及び市長選で掲げた公約などもあっての「リセット」であると市民は受け止めたのではないかと考える。

しかし、施政方針説明内容は総じてこの間と比べ差異がある姿勢ではないと受け止めることから以下伺う。

（１）新規、拡充策として掲げた事業の視点について

（２）民間の持つ力を各事業にどう活かすか

（３）都市計画推進に向け市民の声をどう反映させるか

３　持続的発展に向け、市民の声を踏まえ市政運営が「リセット」されているか。

（１）当議員団が求めた要望を、令和５年度予算案に多く組み込んだとする事業とは何か。

（２）SDGs 目標達成に向けた各種事業の取り組みは令和５年度計画どおり進むか。

（３）国が進める異次元の金融政策、エネルギー・食料の輸入依存、移住定住、防衛等の政策は、三島市の発展につながるものであるか。